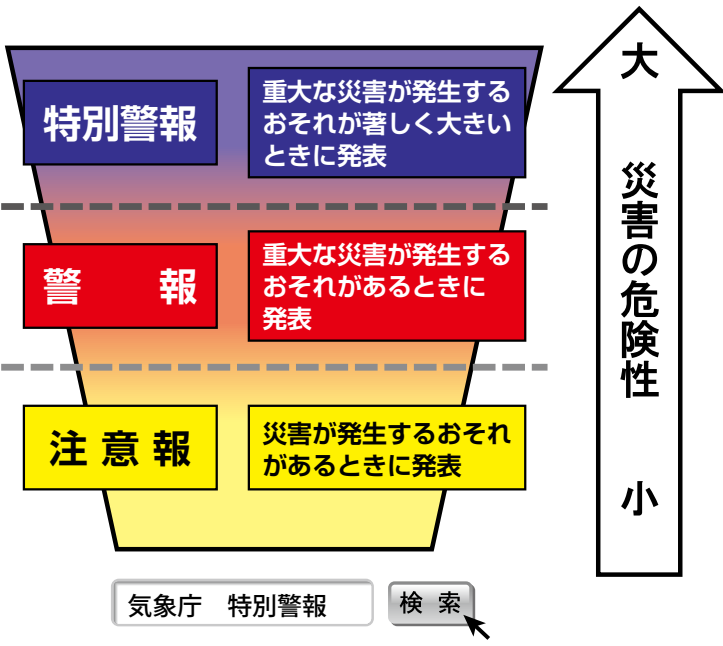


特別警報の対象とする現象は「東日本大震災」、我が国の観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨などが該当します。特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告などに留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

また、大雨などの被害を防ぐには、時間を追って発表される注意報、警報やその他の気象情報を活用して、早め早めの行動をとることがあなたや家族の命を守ります。特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。  
http://www.jma.go.jp/詳しくは  
気象庁高知地方気象台  
防災業務課  
☎ 822-8882



気象庁 特別警報 検索

**お知らせ**  
**J-ALERTによる**  
**全国一斉の緊急情報の**  
**伝達試験について**

町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（J-ALERT）（※）により送られてくる国からの緊急情報を、様々な情報伝達手段を用いて確実に皆さんへお伝えするため、町内で緊急情報伝達手段の試験を行います。

**（実施する内容）**

- ① 防災行政無線の放送  
町内の防災行政無線及び個別受信機に定時放送と同じ位の音量で、次の内容が一斉放送されます。  
「これは、試験放送です」（3回繰り返し）  
「こちらは、いの町役場です」  
下りチャイム音
  - ② いの町メール配信サービスの試験配信【防災情報】  
いの町メール配信サービスを活用し、登録者にメール配信を実施します。
- （試験実施日）**  
9月11日（水） 11時00分ごろ、11時30分ごろの2回実施します。

（※）J-ALERT（ジェイ・アラート）とは、情報伝達に時間的余裕のない、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して、瞬時に自動的に情報伝達するシステムです。



**あなたも消防団に入団しませんか？**

**消防団ってなに？**

「消防団」という言葉は知っているけど、「消防署」とは違うの？消防団について説明します。

**（1）非常備消防**

「非常備消防」聞き慣れない言葉ですが、これと反対に「常備消防」と呼ばれるものがあります。常備消防とは、消防署や消防士といった消防業務を専門に行う行政機関やその職員を表す言葉です。一方、「非常備消防」と呼ば

れる消防団は、日常は他に職業を持つ一般住民である団員で組織され、いざ火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動にあたる機関です。出勤したときには、消防署と協力し、消火・防災活動を行います。

**（2）消防団の組織**

いの町消防団は、旧町村単位で3方面隊に分かれ、各地域単位の分団や部・班により構成されています。

また、活動拠点として各地域に消防屯所があり、消防車をはじめ消防団活動に必要な資機材が整備されています。

**消防団の役割**

**（地域防災力の向上）**

山間部での林野火災などは水がないことから数百メートルもポンプで水の中継する必要があります。その場合、消防署だけでは、鎮火することはできません。

また、大規模な災害が発生した場合、同時に各地で被害が発生するため、消防署・警察署・行政はすべてに対応することができません。そのため、地域のことは地域で解決する地域防災力の向上が必要となります。消防団は地元の